

特集 "P407 Renovation"

青森県弘前市の中心部に位置する、築 24 年、9 階建て鉄骨鉄筋コンクリート造マンションの一室のスケルトンリフォームです。

既存の間取りは当時としてはよくある、洋室+二間続きの和室の 3LDK タイプで、ご夫婦 2 人のライフスタイルには全く合わないものでした。そこで、内部を一旦スケルトンの状態にし、それぞれゆったりとした LDK + 寝室の 1LDK にリノベーションすることにしました。

階高が低く、かなりの圧迫感を与える大きな梁型は仕上げを撤去し、コンクリート打ち放し面を表すことで少しでもスリムにし、モダンでシャープな印象を与えるようにしました。

LDK は白を基調としながらも、お客様の希望により一部レンガタイル張りとする事で、シャープになり過ぎることなく、適度な素材感と暖かさが表現できたのではないかと思います。

また、お客様より支給いただいたアンティークのシャンデリアやステンドグラス、絵画等によりモダンな空間に柔らかなさを与え、心落ち着く空間になったのではないかと思います。

震災の影響で揃うべき家具等が揃わず、寝室やダイニング・キッチンが未だ整っていませんので、整い次第あらためて HP で紹介させていただきます。



既存のマンション内観。二間続きの和室とキッチン。



仕上り間仕切りを解体し、一旦スケルトンの状態とした現場。



LDK のインテリア。

レンガタイルの壁面は、上部からの間接照明で、より素材感を強調します。照明はダウンライト+アンティークのシャンデリア。床は大理石調の P タイル (LL-45 フローリング+合板の上施工)。梁はコンクリート打ち放し。

スタッフの日常・非日常 vol.35

NO PHOTO

地震直後のガソリン不足がきっかけで、徒歩通勤を始めました。毎日ではないですが片道 40 分のウォーキングです。少しやせたかも。腰痛にも良いかなと思ったのですが、それは変わりなし。どうしちゃったんだ、おれの腰。車とは違って、歩くとき色々あります。吹雪のときは耳がもげるとか、雨のときは裾がビチャビチャになり、かもしかに遭遇したり、背後からのチャリンコにビックリしてしまったりと、色々ありますが、最近は暖かくなって天気いい日はとても気持ちが良いです。しかし新たな敵が。花粉です。もるにっかってしまいました。会社に着くとしばらくはズルズルです。はー。それと、チャリンコのっている人ってなんか笑ってますよね。

NO PHOTO

今月のマテリアル



イメージ



イメージ

マーブライトカウンター(TOTO)

洗面室には既製ユニット品はあまり使わず、室の大きさ、お施主様のご要望に合わせて設計します。そのうちのひとつが、TOTO の「マーブライトカウンター」と言われる人工大理石のカウンターとボウルです。寸法を自由に決められる上、耐汚染性、耐水性、耐薬品性、耐熱性に優れています。なによりも一体成型が可能なので、スッキリとしたデザインで、清潔な空間を演出できます。

お知らせ



※前回ご案内した山形の住宅展は、震災のため延期になりました。

□山形県山形市で建築家展に参加します。
ASJ 山形スタジオ
第 10 回未来をのぞく住宅展
山形ビッグウイング 2F・交流サロン
3/16(土) 10:30 ~ 17:00 入場無料
3/17(日) 10:30 ~ 17:00 入場無料
3/18(月) 10:30 ~ 17:00 入場無料
開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。
詳しくはこちらをご覧ください。

(社)日本建築家協会東北支部の活動

(社)日本建築家協会東北支部では震災直後より、仙台市内において被災住宅の応急危険度判定、名取市の罹災証明被害認定調査に係る補助業務、宮城県の要請による被災住宅相談窓口相談員等に対応させていただいております。自ら被災した状況の中でこのような活動に従事されている会員もおります。その尽力には頭が下がる思いであり、初期段階で力になれなかった自分に無力さを感じているところで。遅ればせながら、私、加藤も本当に微力ですが、仙台市で被災住宅相談窓口相談員として、被災住宅の安全確保や補修方法についてご助言をさせていただいております。今後も対応可能な要請があれば、できるだけ被災された方々のお役に立ちたいと思います。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

編集後記

みなさん、こんにちは。

本来であれば希望に満ちた新学期のご挨拶を書くところですが、あまりの出来事にここでのように触れたらよいのか戸惑う状況です。震災の犠牲となった多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々が 1 日も早く平穏な生活に戻れることを願っております。

前回のニュースレターの配信は 3 月 10 日でした。その前日の 3 月 9 日、東京でセミナーを受講中に地震が発生しました。宮城で震度 5 弱。今思えばこれが予兆だったのでしょうか。そして 3 月 11 日、仙台オフィスで打合せ中に大震災は発生しました。あの日の前後についてはこちらのブログでご報告したとおりです。

仙台オフィス開設からわずか 4 か月目、このような状況になろうとは夢にも思いませんでした。これをきっかけに、あらゆる産業も経済も、大きなうねりの中に飲み込まれていくでしょう。しかし、それを「最悪の時」と捉えるのか、「最良の時」と捉えるのか、それは自分の考え次第です。少なくともこの震災が起こった後に「仙台にオフィスを開業しよう」とは考えなかったのではないかと思います。これも何かの導かれた運命かもしれませんが、これまでも同様いつかは結果が出るものと信じ、たゆまず頑張っていく所存です。皆様も、どうぞご自愛くださいませ。



今月の加藤一成
4月7日、秋田市某所で私道幅員計測中。
43条ただし書き許可申請の準備です。
面白い住宅を計画中です。

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315

FAX. 022-739-8932 018-831-4316

HP. <http://www.issei-design.com/>

BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>

MAIL. info@issei-design.com